

アゼオトギリ News!

～咲かせようアゼオトギリ 広げよう笑顔の花～

アゼオトギリとは？
裏面へどうぞ

ここできました！

第11回アゼオトギリ保全勉強会の開催

第11回アゼオトギリ保全勉強会を開催！

昨年から引き続き、コロナ感染予防として、オンライン会議を併用しました。密を避け、会場では飛沫防止対策・アルコールによる手指消毒・検温・マスク着用・換気等、対策は万全を期して実施しました。

◆座学◆

昨年の秋以来の勉強会でしたが、個々で取組まれた内容や課題などの意見交換を行い、有意義な会になりました。今回は、草本植物・重要種の保全等の研究をされている大阪府立大学の中山教授、静岡県に生育する草本植物の種分化に係る研究をされている、ふじのくに地球環境史ミュージアムの早川准教授をゲストとしてお招きしました。佐奈川での保全活動についてご意見を頂くとともに、三重県外のアゼオトギリについての研究紹介もして頂きました。中山先生より『アゼオトギリが他の植物と共生できる環境づくりが大切です』とのご意見もあり、生物多様性の重要性を再認識する会となりました。



各団体の栽培状況報告 & 意見交換
(会場とオンライン会議の併用)

◆現地作業◆

座学の後は、移植地/桜づつみ公園において、みなさんと草刈りを行いました。草刈りのあとは、枯草や刈った草を除去し、アゼオトギリの新芽が出やすい環境にしてみました。今後の成長が楽しみです♪

佐奈川桜づつみ公園は駐車場もあり、多気駅から徒歩10分ほどです。ぜひ見学にいらしてみてください★



草刈り作業(移植地/桜づつみ公園にて)



草刈り前



草刈り後

2 環境学習に取り組んでみませんか？～里地里山保全を目指して～

*アゼオトギリ保全活動を通じた環境学習の意義

テレビで話題のSDG'sの実現には、持続可能な地域の作り手を育むESDの実践がカギだと言われています。その取り組みの一環として、アゼオトギリ保全活動は学校と地域が連携した環境学習の題材として活用できます。アゼオトギリ保全を通して地域への愛着が生まれ、里地里山保全に繋がることを目指していきませんか？

SDG's：「誰一人取り残さない」をスローガンに掲げた、
持続可能な開発目標
(貧困、気候変動、教育などの課題解決に向けた目標)

ESD：持続可能な開発のための教育



*地域の方々(地域団体)との環境学習の内容

地域団体と連携して環境学習を行います。

座学で希少植物や保全活動などについて学び、屋外において苗植え、種まき、栽培や地域団体の栽培箇所の見学などを行います。

●地域団体

兄国水と緑を守り隊
西池上やまびご会
べこじ倶楽部
仁田地域環境保全会
佐奈川を美しくする会
相可高等学校
久居農林高等学校

学習内容の例(選択可)		対象	時期
①座学	団体の保全活動の取り組み紹介など	全学年	通年で要望に応じて
②栽培	苗植えによるプランター又は花壇での栽培、播種によるポット苗の栽培		春～夏
③花の観察	校外にて栽培箇所の見学		夏季に必要なに応じて
④種子採取	来春の播種用の種子採取		秋
⑤苗移植	校外にて栽培苗を移植		初夏以降、必要に応じて
⑥活動状況	地域団体への活動状況の聞き取り		年2回ほど



座学



地域の方と苗植え



地域の方と校外にて花の観察

3 ちょこっとひとネタ～多気町役場～ ☆VISON グランドオープン☆

7月20日(火)に日本最大級の商業リゾート施設『VISON』が多気町にグランドオープンしました！
マルシェVISONではとれたて新鮮な山の幸・海の幸を
購入したり食べたりすることができます！



また、木育エリアには木と森の体験施設「kiond(キオンド)」があり、木や森を五感で感じることができます。

自然豊かなリゾート施設でほっと一息ついてみませんか？

アゼオトギリとは？

田んぼの畦や日当たりが良く湿った場所に生える多年草でオトギリソウ科の一種です。三重県内ではH25年に48年ぶりに発見されました。

取扱いには届出が必要です

H29年3月31日三重県指定希少野生動植物種にアゼオトギリが指定されました。採取、移植などの取扱いには三重県に届出が必要です。
※許可なく採取等行うことは条例違反となります。



問合せ先 ●三重河川国道事務所 調査課 ●多気町 町民環境課 TEL0598(38)1113
TEL059(229)2216 建設課 TEL0598(38)1116

《お気軽にお問合せ下さい》

自粛生活が続いていますが、川沿いや田んぼの畦を散歩してみてください。アゼオトギリが見つかるかも！？

ちょっと話聞きたいなどなど、お気軽にお問合せ下さい。